



消防士が放火?!?

—西日本防災システム

2019 01 10

アメリカの話題です

NBS 119

ペンシルベニア州で昨年12月、地元消防署でボランティア消防士として活動していた男が2軒の民家に放火するという事件が発生したようです。

12月10日の午前3時頃、住民女性は突然濃い煙と炎があがっていることに気付いて通報しました。駆けつけた警察と消防署が女性に話を聞いていた時、別の住民男性も「1週間前にウチも玄関先に火をつけられた」と明かし、警察は2件の火災を意図的な放火事件として捜査を開始しました。

放火があった地域の監視カメラから捜査員らは、容疑者らしき男の姿を確認しました。男は19歳のボランティア消防士で、12月3日と10日に自宅からさほど離れていない民家の玄関先に放火した後、何食わぬ顔で消防署に出入りしていたことが分かったそうです。

警察の調べに対し、男は「10日は自宅ですっとビデオゲームをしていた」と供述。しかし捜査員が、監視カメラの映像の件を持ち出すと「ガールフレンドに会いに行くために家を出た」と話を交えましたが、ついに2軒の民家の放火を認めたそうです。男は12月3日にはペーパータオルを使用し、10日にはガソリンを使って放火したと自供し、放火の理由について「**退屈だったから**」と話したそうです。男は20万ドル(約2,200万円)の保釈金を支払えずに、郡刑務所に勾留されました。

今年1月2日、放火では幸いにも怪我人などはありませんでしたが、5件の放火罪、2件の器物損壊罪、2件の大惨事のリスクを引き起こした罪で逮捕・起訴された男には、今後の消防士としての活動を永久的に停止する処分が下されたそうです。



西日本防災システム

NIISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

